



# 牛牧小だより

令和5年  
9月4日(月)

## 前期保護者アンケートについての報告

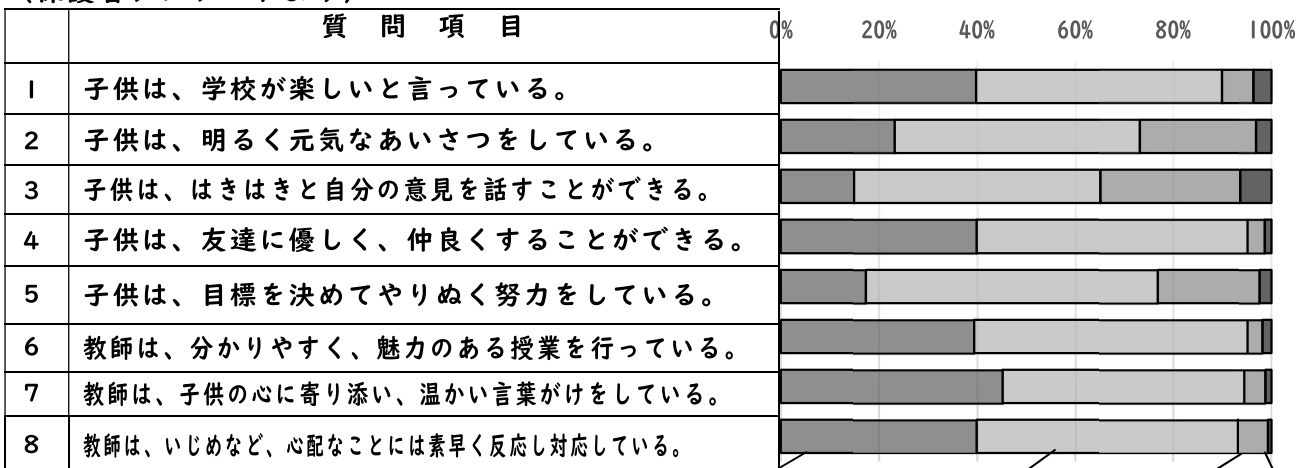
初秋の候、保護者の皆様には本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。7月には、前期の保護者アンケートをお願いし、392名(53.7%)から回答をいただくことができました。ありがとうございました。

学校の指導に対して、温かいご意見やご指摘等を多くいただきました。また、保護者の皆様の励ましのお言葉に、今後も、子供に寄り添いながら教育活動を進めていこうと気持ちを新たにいたしました。

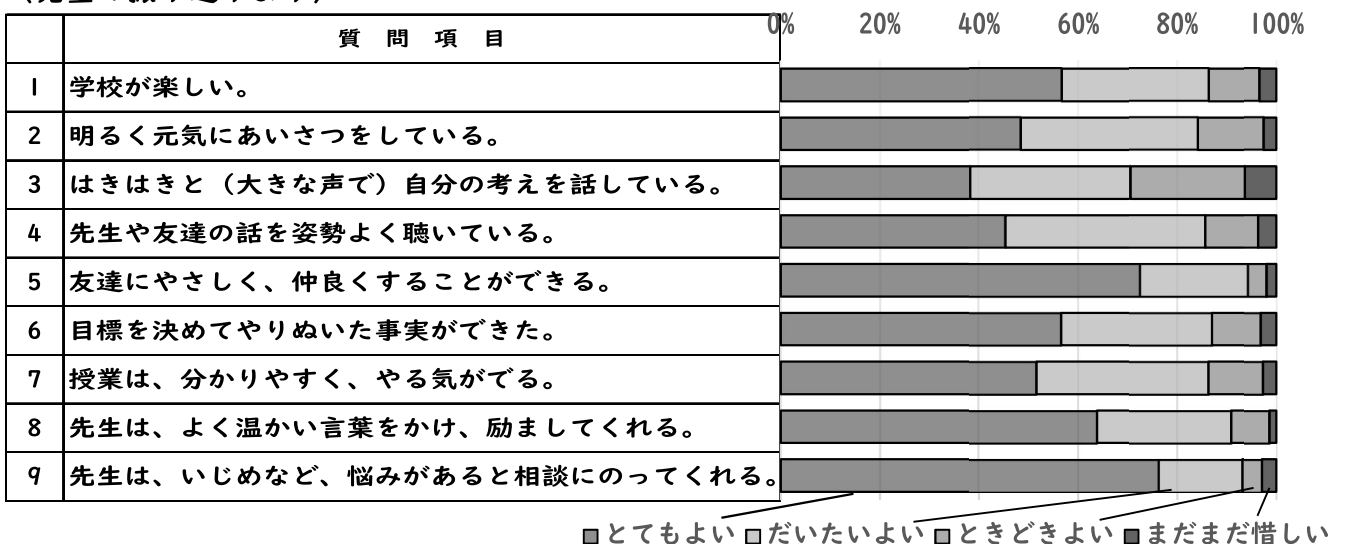
以下に、数値結果と、記入していただいたご意見を中心に、現在の学校の取り組みや今後の指導について説明します。この結果をもとに、今後も、保護者や地域の皆様方と共に、学校をよりよくするために全職員で取り組んでいきます。



### 〈保護者アンケートより〉



### 〈児童の振り返りより〉



とてもよい
  だいたいよい
  ときどきよい
  まだまだ惜しい

## 本校の取り組みについて

今回の学校評価では、「親身にご対応いただけてありがたい」「子供のよいところをたくさん見つけ、認めてくれる」「子供の頑張りを認めたり、ノートを丁寧に見たり、一人一人細やかに大切にかかわってくれている」など本当にうれしいお言葉を多くいただきました。

これは、保護者アンケートと児童のふり返りアンケートとで、同じ内容を比較したものです。

		項 目	◎ ○の評価	▲ ▲▲の評価
①	保護者 児童	子供が学校が楽しいと言っている 学校が楽しい	88.9% 86.4%	
②	保護者 児童	子供は、友達に優しく、仲良くすることができる 友達にやさしく、仲よくすることができる	92.4% 93.1%	
③	保護者 児童	子供は、明るく元気なあいさつをしている 明るく元気にあいさつしている		26.8% 15.9%
④	保護者 児童	子供は、はきはきと自分の意見を話すことができる はきはきと大きな声で自分の考えを話している		34.8% 29.4%

① ②の項目に関しては、保護者と児童とが似たように感じています。③④の項目は、保護者と児童とが同じ項目を「まだ惜しい」(▲ ▲▲)と感じています。

「あいさつ」に関しては、「まだ惜しい」(▲ ▲▲)と感じている保護者に比べ、児童は少ない傾向があります。これは、今年度学校が「3つのたから」の1つとして重点的に指導を進めており、朝の会の前に生活委員が各学級を回り、あいさつ活動を進めたり、学級のすてきなあいさつの様子を給食の時間に紹介したりしていました。この取り組みの事実が、児童の振り返りアンケートの中の意識に現れていると感じます。さらに今後は、全校であいさつの意義を確認しながら「あいさつする」ことの心地良さを価値付け広げながら指導を進めていきます。また、委員会活動であいさつ標語を募ったり、誰に対しどのような気持ちで行っていくと良いのかなど、質を高める指導を進めたりしていきます。学校外でも明るく元気にあいさつができるように、ご家庭や地域の方々と共に子供たちを育てていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

「自分の考えをはきはきと話すこと」についても、授業の中で、ペアやグループで交流する学習活動を多く仕組み、自分の考えをもち、仲間にはっきりと伝えることができるようアウトプットの学習を継続的に進め、指導していくつもりです。

「先生は、いじめなど、悩みがあると相談にのってくれる」の項目については、「とてもそうだ」「だいたいそうだ」と94.3%の児童が答えています。さらには「とてもそうだ」と振り返っている児童が、76.3%いて、それは、全体の4分の3の児童であることに大きな喜びを感じます。これまで、児童に寄り添い、声かけをしたり関わってきたりした結果であるにとらえ、これまで以上に学校として大切なことであると共通理解し、進めていきます。

### 《全体から》

運動会に関しては、多くの感想やご意見をいただきました。今年度は、2つに分けた形で実施しました。コロナ対応や熱中症対策で、全校が一緒になって、運動場で活動することができませんでしたが、5、6年が運動会の仕事を分担して行い、「中心となって」他学年を引っ張っていく運動会にすることができました。今後も子供たちの思いを大切にしながら、状況を見ながら対策を講じ、進めていきます。

### 《その他》

登校時の送迎について、「何度も学校から連絡があっても、いまだに道路で降ろしたりする方がいる。」「普段は駐車場に停めてみえるが、雨天の時はいつも送迎でない方が多いようでマナーが悪いのではないか。」「道路で降ろす為に路上駐車になり渋滞などが発生したり、事故になったりしてからでは遅いのでもう少し気を付けてほしい。」というご意見をいただきました。実際、雨天のときには、道路の端に駐車して子供を降ろしてすぐ去られる保護者がいらっしゃるためとても危険です。車が行き来する中を子供が安全に道路を渡るのを見届けたり東門まで一緒に来ていただいたりしていただけるとありがたいです。

**今後も、保護者の皆様のご協力とご理解をいただき、一緒に子供たちに力を付けていきたいと思ひます。**

## 《学級・学習にかかわって》

- ・家庭学習についても、感想やご意見をいただきました。先生に褒めてもらったことや、みとどけてもらったことで、いろいろな事にすすんで挑戦するようになったとの感想もありました。学校としては、決められたことを自分でやり切って習慣づけをしていく低学年から、学年が上がるにつれて徐々に自分で考えて自主学習を進める中学年、そして、見通しをもって学習を進める力をつけていく高学年へと発達段階に合わせて指導を進めています。これからも、学校として、家庭学習の出し方を共通理解しながら子供たちに「自分で」学習を進める力をつけるために段階的に指導していきます。